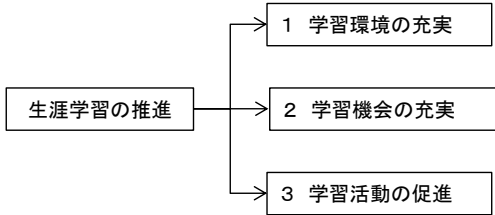


令和２年度大船渡市教育委員会の事務の執行状況等

施策１ 生涯学習の推進



<凡例>

進捗度とその理由			
進捗度	状 況		成果指標
A	概ね計画どおり進捗している		当初見込み以上
B	一部に進捗の遅れが見られる		当初見込みの7割前後
C	全体的に進捗の遅れが明らかである		当初見込みの5割以下
下線	教育委員会から市長へ権限委譲した事務	目標値	平成28年度に設定

今後の方向性	
○	現状維持
●	改革改善

基本事業１ 学習環境の充実

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R1実績	R2実績	R2目標	
1-1 学習環境の充実	市民 生涯学習施設	学習環境、活動の場が整っている。	①「生涯学習のための施設が整備されてる」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	22.2	17.0	①20.0	B 施設の適切な維持管理に努めているが、市民意識調査では、生涯学習施設への満足度は前年度から5.2ポイント減少している。 引き続き施設の維持や設備の更新等を図り、快適な学習環境を確保するとともに、市民が求める施設設備やサービスなどの把握に努める必要がある。

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	R1実績	R2実績	R2目標		
1-1-1 三陸公民館施設管理・運営事業	全市民、三陸公民館	安全・快適に学習活動が行える。	施設利用状況の集計、使用料の集計・納入、設備修繕等の維持管理業務、指定管理者への業務委託	①三陸公民館利用者数	①人	①12,194	①4,523	①10,000	B コロナ禍により利用者数は減少したが、適切に運営管理が行われている。	○ 引き続き、貸出業務及び施設管理業務を指定管理者に委託し、適正な維持管理に努める。
1-1-2 図書館運営事業	市民	安全で快適に図書館を利用できる。	市立図書館協議会の開催、各種図書館職員専門研修の受講、図書館情報の提供、施設管理委託、移動図書館車の維持管理 ※図書館資料のICタグ化、移動図書館車の更新	①図書館資料の貸出点数	①点	①125,054	①121,301	①185,000	B ICT化等により利便性の向上を図りながら、運営管理は概ね適切に行われているが、より専門性の高い、より効果的かつ効率的な運営を図ることが求められている。	● 民間の専門的知識や能力を活用し、サービスの向上とより効率的な施設運営が期待される指定管理者制度について、早期の導入を進める必要がある。
1-1-3 博物館施設改修事業	博物館利用者(市民、基石海岸を訪れる観光客) 博物館施設・設備	快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる。	施設設備の改修、設備、大規模な修繕 ※事務室・未整理工作室等の空調設備設置、燻蒸室への収納棚等整備	施設設備の改修済件数	件	2	3	2	A 規模の大きい修繕工事を計画的に実施し、来館者の利便性の向上と、資料の適切な保存環境の確保が図られている。	○ 公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき、改修を計画的に推進して施設機能の維持向上に努める。

基本事業 2 学習機会の充実

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R1実績	R2実績	R2目標	
1-2 学習機会の充実	市民	・学習情報が容易に入手できる ・多様な生涯学習機会に恵まれている	「生涯学習活動の機会がある」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	25.5	23.7	26.7	B 「生涯学習活動の機会がある」と答えた市民の割合は前年度から1.8ポイント減少するなど、コロナ禍の影響により、学習機会の提供が満足にできなかった。 さらに、市民意識調査では「生涯学習関連情報が十分に提供されている」と答えた市民の割合は18.7%となっていることから、より積極的な情報発信が求められている。 また、参加者が減少傾向にある公民館における講座を始め、各種生涯学習事業について、市民ニーズの把握に努め、若年層・勤労者層への対象拡大を図るとともに、コロナ禍における効果的な開催方法を検討する必要がある。



事務事業名	対象	意図	事業内容	成 果 指 標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名 称	単位	R1実績	R2実績	R2目標		
1-2-1 地域社会教育振興事業	地区公民館、地域公民館	活発に自主活動を行うようになる。	補助金算定、申請書受付、交付、精算書受付 ※11地区公民館に地域社会教育振興事業費補助金を交付 ※3地域公民館に地域公民館整備事業費補助金を交付	①市補助金額(地区公民館) ②市補助金額(地域公民館)	①千円 ②千円	①13,309 ②7,358	①13,309 ②2,234	①13,309 ②3,000	A 補助目的に沿って、地区コミュニティの中核となる地区公民館において、住民の生涯学習の活動の場と機会が確保されているが、今後結成される地区運営組織に対応した事業実施が必要となっている。 地域公民館施設については、施設の建替えや修繕等に関し補助を行うことにより、活動の場が確保されている。	● 生涯学習とまちづくりの連動を実現する体制の整備・強化を図るため、地区運営組織の設立に向け、地区公民館単位での生涯学習活動の在り方を検討する必要がある。 地域公民館は、施設の維持や改築に係る財源確保が厳しい地域があり、継続的な支援が必要である。
1-2-2 図書館資料収集保存事業	市民	学習や人間形成の一助として、知識や情報を得ることができる。	図書資料の収集、保存、提供	図書館資料の貸出冊数	冊	125,054	121,301	185,000	B 図書館資料の収集保存は、図書館運営の基幹であることから、資料の収集や提供の更なる充実が求められている。 また、図書館に対する市民の要望や期待は年々増しており、文化の向上やまちづくりに資する図書館の重要性が高まっている。	● 郷土資料や市民ニーズに沿った資料の収集保存のため、職員のスキルアップや司書の安定的な確保を図る必要がある。 また、震災資料など未整理の資料を適切に整理し、市民に提供する必要がある。
1-2-3 博物館教育普及事業	市民	教育普及事業を通して、気仙地域の自然と文化について、学ぶことができる	博物館資料や気仙地域の自然と文化の教育普及を図るイベントの開催 ※縄文土器製作会、自然観察会、博物館スクール、教員のための博物館の日、生涯学習相談等	普及事業への参加者数	人	741	642	800	A 地質、自然、歴史など各分野のイベント等を、年次的にまんべんなく実施し、市民の主体的な活動を支援している。参加した市民や学校の満足度も高い。	○ 創意工夫を凝らし、必要な事業を安定的に実施している。総合博物館及び三陸ジオパーク拠点施設としての特性を生かし、レファレンスサービスや魅力ある企画に努め、一層の利用拡大を図る。

基本事業3 学習活動の促進

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R1実績	R2実績	R2目標	
1-3 学習活動の促進	市民 芸術文化団体	活動の成果を発表する	①市民芸術祭出品数	①点	①3,059	①0	①4,000	B（文化・芸術を除く） コロナ禍により市民の生活や活動発表の場が制限される中、新しい生活様式を踏まえ、工夫を凝らしながら市民の学習活動を支援した。 しかし、長期にわたる活動制限のため、市民の学習意欲の低下が懸念されることから、事業の在り方を検討し、継続して学習活動を促進する必要がある。 また、加速する社会の情報化や復興後の市民活動の変化など、社会情勢や市民ニーズを的確に捉え、必要な支援を行う必要がある。
			②市民芸術祭出演者数	②人	②3,250	②0	②4,500	



事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名 称	単位	R1実績	R2実績	R2目標		
1-3-1 社会教育関係団体活動支援事業	社会教育関係団体	自主的な活動を充実、継続させる。	・市地域婦人団体連絡協議会、市PTA連合会事業への協力、補助金の交付 ・大船渡ユネスコ協会への一部事務支援	①主催事業数 ②補助金額	①事業 ②千円	①6 ②227	①6 ②227	①9 ②227	A 社会教育団体の活動を支援することにより、各団体と市との連携が図られ、自主的な活動を充実、継続させるなど学習活動の促進に結びついている。 補助金交付団体においては、補助目的に沿って、研修会への参加等に事業費を充てるなど、活動の充実に努めている。	● 市内では多様な市民活動が展開されており、既存の被支援団体のみを支援する必然性が薄れてきていることから、市の各種団体の支援施策との統合を含めた支援体制の検討が必要である。
1-3-2 地域再生支援文化活動事業	各開設地区住民	学習活動を通じて、地域住民相互のコミュニケーションが促進され、復興への意欲を高める。	東日本大震災からのコミュニティの復興のため、地域住民相互のコミュニケーション促進と生きがいづくりを行う ※11地区で生活に役立つ知識や文化・教養に関する講座を開催	①延べ講座参加者数 ②学習に参加して有意義だったと感じた参加者の割合	①人 ②%	①669 ②91.0	①338 ②92.8	①500 ②91.0	A 各地区のニーズを踏まえ、地区毎に必要な講座を実施しており、住民相互のコミュニケーション促進が図られている。講座内容等については、概ね参加者からは好評を得ている。	●（廃止） 住民の復興意欲の醸成を目的として開始したが、コミュニティの再編が進み、所期の目的を一定程度達成したことから、復興・創生期間が終了する令和2年度で事業廃止とする。
1-3-3 図書館読書推進事業	市民	図書に親しむ機会が提供され、読書活動と図書館利用の普及が図られる。	読書活動の推進を通して、本や読書の大切さを広め、市民の教養や文化の向上を図る。 ・おはなしパレード（読み聞かせ）、お楽しみ親子劇場（人形劇等の鑑賞）、読書ボランティアの育成・支援、ブックスタート（7か月児健康相談時の絵本贈呈）、各種図書展・読書普及に係る事業の開催	①事業（参加型）参加者数 ②図書館資料の貸出点数 ③図書館資料の貸出者数	①人 ②点 ③人	①873 ②125,054 ③22,051	①449 ②121,301 ③19,855	①1,063 ②185,000 ③23,100	B 企画図書展や関連する体験イベントを積極的に実施し、図書館の利用拡大を図ることにより読書の推進に努めているが、インターネットの普及により図書や情報の入手が容易になり、利用者数等は減少傾向にある。	● 利用者のニーズを的確に把握し、継続的な情報発信に努めながら、効果的に事業を運営し、サービスの向上を図る必要がある。 新たに策定した第2次大船渡市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもが本に親しむ環境づくりに努めていく必要がある。

□ 総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R1実績	R2実績	R2目標	
1 生涯学習の推進	市民	主体的に学ぶことを通じて自己実現を図る	①「日頃、何らかの学習活動に取り組んでいる」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	①19.7	①16.0	①45.0	B(文化・芸術を除く) 市民意識調査によると、主体的に学習に取り組む市民の割合は、目標値に対し依然として低い割合にとどまっている一方で、「日頃、学習活動に取り組んだ成果を活かしている」と答えた割合は、わずかではあるが増加傾向にある。 コロナ禍により生涯学習の活動の場が制限され、各施設の利用者は減少しており、感染防止対策を講じながら、事業内容や開催方法等を検討し、より多くの市民に対し学習機会を確保し、学習意欲を促進していく必要がある。 市民の生涯学習ニーズは多様化しており、今後も学習機会の充実を図るとともに、学びの成果を地域を活かしていく必要がある。
			②「日頃、学習活動に取り組んだ成果を活かしている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	②%	②9.7	②10.1	②45.0	
			課 題					
・地区公民館など社会教育施設の維持修繕による生涯学習環境の充実 ・生涯学習関連情報の効果的な発信 ・幅広い世代の関心と呼ぶニーズに沿った魅力的な学習プログラムの検討 ・生涯学習とまちづくりの連動を実現する体制の整備・強化 ・児童生徒や青年層の参加機会の充実を図るための魅力ある講座内容や実施方法の見直し ・芸術文化の鑑賞機会の提供と広く芸術文化に親しむことができる環境づくり ・芸術文化活動を担う人材や後継者の育成								